

製品名: リン酸化ヒストン H2A.X (Ser139) (2A9) マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM03679

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 15 kDa; Observed MW: 15 kDa

抗原情報

遺伝子名	H2AX
別名	H2A.X; H2AFX; H2a/x; HIST5-2AX; Histone H2A.X; gamma H2A.X
遺伝子 ID	3014
SwissProt ID	P16104
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

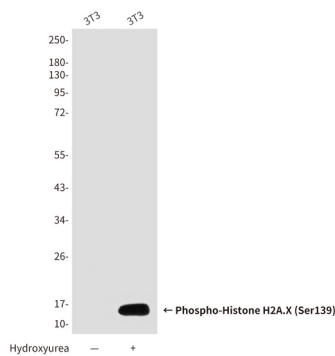
ヌクレオソームのサブセットにおいて、従来のヒストン H2A を置換する変異ヒストン H2A。ヌクレオソームは DNA をクロマチンに包み込み、凝縮することで、DNA を鋳型として必要とする細胞機構への DNA のアクセスを制限します。これにより、ヒストンは転

写制御、DNA 修復、DNA 複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。

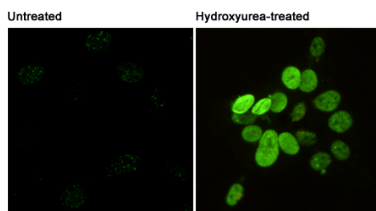
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

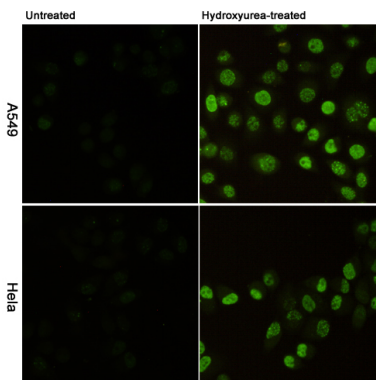
画像データ



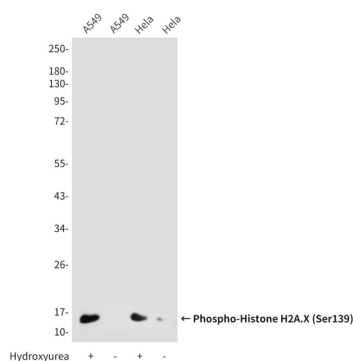
リン酸化ヒストン H2A.X (Ser139) 抗体を使用した、3T3 またはヒドロキシウレア処理した 3T3 溶解物中の H2A.X のセリン 139 のリン酸化のウエスタン ブロット分析。



リン酸化ヒストン H2A.X (Ser139) (2A9) 抗体を用いた 3T3 またはヒドロキシウレア処理 3T3 におけるリン酸化ヒストン H2A.X (Ser139) (2A9) の免疫蛍光分析



リン酸化ヒストン H2A.X (Ser139) 抗体を使用した A549 (上、未処理またはヒドロキシウレア処理) および HeLa (下、未処理またはヒドロキシウレア処理) におけるリン酸化ヒストン H2A.X (Ser139) (2A9) の免疫蛍光分析。



リン酸化ヒストン H2A.X (Ser139) (2A9) 抗体 (上) またはベータアクチン抗体 (2000688F10) (下) を使用した、未処理またはヒドロキシウレア処理した HeLa および A549 溶解物中のリン酸化ヒストン H2A.X (Ser139) (2A9) のウエスタンブロット分析。

